

挨拶 福井県小学校長会 会長 山口 満

今年の夏も記録的な猛暑に襲われ、雪、雨、風だけでなく、太陽までも災害の対象と考えなければならない時代に入ったのかもしれませんが。本日、令和最初の第71回福井県小学校長教育研究若狭大会を、古代から御食国と呼ばれ、都の食文化を支えた歴史、食や祭礼などさまざまな文化が息づき、地域力を結集した協働による『「夢、無限大」感動おばま』の実現に向け、まちづくりに取り組んでおられるここ小浜市において、このように盛大に開催することができましたことは、小浜市、おおい町、若狭町、高浜町の温かいご支援とご協力の賜物と受け止めております。会員を代表いたしまして、深く感謝申し上げます。また、本日は公務ご多用の中、福井県教育委員会教育長 豊北欽一様、小浜市長 松崎晃治様をはじめ、多くのご来賓の方々にご臨席を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

本大会では、『新たな知を拓き、人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育の推進』を主題として、『豊かな心と確かな学力を身につけ、夢と希望に向けて共に生きる子供の育成』を副主題に設定し、学校経営、教育課程、自立と共生、危機管理など、八つの分科会において提案と協議が行われます。学校経営の責任者である校長の果たすべき役割と指導性の在り方について、新しい学習指導要領の趣旨を含め、さまざまな視点から小学校教育のグランドデザインの創造とそれを具現化する方策について、充実した研究・協議になるようにしたいと考えております。本日の分科会で提案を準備していただきました各校長先生方、本当にありがとうございます。また、司会、記録、運営の校長先生方、よろしくお願ひします。

この研究大会は本年度で71回目となり、本県の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究協議、実践を積み重ね、学校経営、さまざまな教育課題への対応等について多大な成果を上げてきています。令和2年10月には、第55回東海・北陸地区連合小学校長会教育研究福井大会がフェニックスプラザを主会場として開催されます。本日の研究大会、本年10月に富山市で開催される東海・北陸地区連合小学校長会教育研究大会での研究成果をさらに深化・充実させ、来年の東陸福井大会での研究発表につなげていけるよう、県内小学校長全員で一致団結して取り組んでいきたいと思ひます。

さて、今日、知識基盤社会への新たな進展やグローバル化の進行、急激に進む少子高齢化等により、さまざまな改革と対応が求められています。小学校教育においても、学習指導要領の改訂に伴い激しく変化する社会の中で、自立した人間として他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力の育成が求められています。こうした中であって、令和2年4月から新しい学習指導要領がスタートします。学校は、新たな価値を創造し、社会を生き抜く力を身に付けた日本人の育成を目指すために、確かな学力や豊かな心、健やかな体の調和を重視する『生きる力』を育む教育を実現するため、校長は明確なビジョンを掲げ、学校組織の活性化を図り、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善に努めなければ

なりません。さらに、グローバル化に対応できる人材の育成を目指す英語教育の充実・強化、いじめ等問題行動の防止に向けた人権教育と道徳の教科化、質の高い教育活動を実現するための教職員の資質能力の向上、特別支援教育の充実、働き方改革・業務改善による教師が子どもたちと向き合う時間の確保など、対応すべき重要課題が山積しています。また、危機管理体制の見直し、安全指導の充実、関係機関との連携を強化した防災教育の推進も喫緊の課題となっています。

このような状況の中で、校長は現状を深く認識し、教育改革の動向を的確に把握しながら、リーダーシップを発揮し、確かな計画と実行力をもって教育の成果を上げていかなければなりません。私たちは、組織の総力を挙げて課題解決に努めるとともに、積極的に政策提言を進め、もって県民・国民の信頼に応える必要があります。そのために、校長は自らの使命を自覚し、権限と責任の下に、未来社会に夢と希望をもち、たくましく生きる児童の育成を志向して、活力ある学校づくりに努め、本県の教育がさらに充実したものとなるよう舵取りをしなければならぬと考えています。

最後に、本研究大会に向けて、開催までの計画・準備や大会運営にご尽力いただきました若狭地区の校長先生方をはじめ、関係各位に心からお礼を申し上げ、開会の挨拶といたします。